

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 事業の成果

令和3年度も新型コロナの影響を大きく受けた。

相談会においては、4月、5月が緊急事態宣言、1月、2月は緊急事態宣言により会場が使えないところもあった。また、夏には豪雨により相談会が中止となった会場もあった。令和2年度よりも開催できた回数が少なく、呉地区相談会が東広島地区相談会に統合されたこともあり、相談者の数が大きく減っている。

R2年度相談者 廿日市59 広島市52 備後53 東広島45 呉37 計246

R3年度相談者 廿日市46 広島市37 備後45 東広島28 呉なし 計156

障害者総合福祉法に基づいた障害福祉サービス クラブハウス・シェイキングハンズにおいては、4月、5月の緊急事態宣言の期間も事業所の営業を続けていたが、緊急事態宣言のあいだ通所を休む利用者がでた。また、定期的に通所していた利用者が通所できなくなったケースもあった。新たな利用者の獲得が思うように進まず、就労や別のB型に移るなどでの退所により、利用者が減少した1年であった。就労移行の利用率は年度当初73.3%だったが、年度末時点では50%を割り込んだ。また、就労継続B型の利用率は年度当初78%だったが年度末には40%を切った。この状況を打開するために、新型コロナウィルス感染症対策経営資金として500万円の借入をしたが、新規利用者の見通しが立たない。高次脳機能障害の啓発を長年実施してきた成果なのか、地域で受け入れる事業所が増えて、当初の目的は果たしたと考え、令和4年7月をもって福祉サービス事業を閉じることとした。

2. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動にかかる事業

(1) 高次脳機能障害者およびその家族への支援に関する事業

決算 909,638円

廿日市地区相談会		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(延べ人数)
毎月第3木曜日	当事者家族	5	0	0	8	4	4	7	5	7	0	0	6	46
10:00～12:00	関係機関	2	0	0	2	4	2	3	2	2	0	0	3	20
13:00～15:00	個別相談	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	4
廿日市 総合福祉センター 山崎本社 みんなのあいプラザ	関係機関	廿日市記念病院言語聴覚士/メープル法律事務所弁護士・助手/きらりあ相談員												
		5月、6月は緊急事態宣言、1月、2月は新型コロナまん延防止等重点措置が広島県に適用されたことに伴い、中止だった。(R2年度は10回開催、R3年度は8回開催) そのため、電話での相談が増えたことや個別での対応があった。												

広島市中区相談会		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (延べ人数)
毎月第2火曜日	当事者家族	4	1	0	6	5	0	4	3	4	2	4	4	37
10:00~12:00	関係機関	3	3	0	2	5	0	3	5	5	5	4	4	39
13:00~15:00	個別相談	0	2	0	2	3	0	1	1	3	0	2	3	17
広島市中区 地域福祉センター	関係機関	広島市精神保健福祉課担当者 保健師/ メープル法律事務所弁護士・助手/ いでした高次脳ドケア支援員/いろは訪問看護リハビリステーション支援員												
		6月・9月は緊急事態宣言のため中止だった。(R2年度、R3年度とも10回開催) まん延防止等重点措置の時は開催していたが、参加を控えていたというご家族もあったため参加人数は少なかった。 受傷後、年数が経過した方からの相談が目立った。												

備後地区相談会		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (延べ人数)
毎月第2金曜日	当事者家族	8	0	0	0	0	0	12	10	8	0	0	7	45
10:00~12:00	関係機関	2	0	0	0	0	0	1	4	4	0	0	2	13
	当事者	2	0	0	0	0	0	3	3	2	0	0	2	12
三原 サンシープラザ	関係機関	メープル法律事務所弁護士・助手/ 県立大学学生/ 尾道社会福祉協議会 川崎医療福祉大学 大学院院生/ 看護師												
		5月・6月・9月は緊急事態宣言、7月・8月は豪雨、1月・2月はまん延防止等重点措置のため中止。 (R2年度は9回開催、R3年度は6回開催) 実施した日は参加者も多く、時間が足りなかった。コロナ禍で、みつぎ合病院からの参加はなかった。												

東広島地区相談会		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (延べ人数)
毎月第1火曜日	当事者家族	4	0	0	0	6	0	5	5	8	0	0	0	28
13:30~15:30	関係機関	4	0	0	0	4	0	5	5	6	0	0	0	24
広島県立障害者 リハビリテーション センター 5階会議室	関係機関	広島県高次脳機能センター長 医師・コーディネーター・療法士 メープル法律事務所 弁護士・助手												
		5月、1月は休日のためお休み。 6月・7月・9月は緊急事態宣言、2月・3月はまん延防止等重点措置のため中止。(R2年度は6回開催、R3年度は5回開催) 高次脳機能センター内での実施のため医師、コーディネーター、作業療法士、言語聴覚士等、当事者に直接接している方が参加している。医療関係者に病院内では見られない生活の中の困りごとを聞いていただけるので、家族の大変さを知ってもらえてより高次脳機能障害の理解につながっている。												

※ R3年度から 呉地区相談会は東広島地区相談会に統合した。

(2) 障害者総合支援法に基づいた福祉サービスに関する事業

決算 20,609,211円

【クラブハウス・シェイキングハンズ】

チャレンジ (就労移行支援事業)

内容	自分の障害と向き合い就労に向けて準備する場。同じ障害を持つ人との交流を通して、障害の気づきや理解を深める。働くための基盤を整える (2年間)
事業日程	通年 月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	サービス管理責任者・就労支援員・生活支援員・職業指導員
受益者	定員10名 利用実人数12名
実施成果	一般就労2名 A型へ2名 B型 (ワークステージ) へ4名 他のB型事業所へ1名 退所1名 新規利用者1名

ワークステージ (就労継続支援B型事業)

内容	自分のペースで自分に合った働き方を目指す。(利用期間の制限なし)
事業日程	通年 月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	サービス管理責任者・生活支援員・職業指導員
受益者	定員10名 利用実人数12名
実施成果	就労移行 (チャレンジ) へ2名 他のB型事業所へ1名 退所1名 新規利用者1名

就労支援事業 (当事者工賃事業)

1,737,924円

内容	ベルテガーデン清掃、広島市就労支援センター内職、みかんの受注・発送、シートはがし、石けん詰め・ラベル貼り、洋服のタグ付け、タオルたたみ
事業日程	通年 月曜日～金曜日 10:00～15:00
従事者	サービス管理責任者・生活支援員・職業指導員
実施成果	令和2年2月から開始した洋服のタグ付け、令和3年11月から開始したタオルたたみなど、新たに始めた作業により内職による収入は増加した。利用者が作業に従事する時間が増えたため、利用者の平均工賃も増加した。 作業の種類が増えたことにより、利用者のアセスメントがいろいろな角度からできるようになった。利用者にとっては、実際の仕事に近い形で、相談や報告、挨拶、声掛け、作業の分担等について訓練する機会となっている。

(3) 高次脳機能障害の一般社会への啓蒙活動に関する事業

決算 586,657円

事業名・場所・主催	実施日	人数	内容（講師・演題）
地域の社会資源を知ろう（見学会） 安田女子大学 看護学部学生	令和3年 4月28日（水）	26名	藤原希恵
広島市総合リハビリテーション病院 職員研修 場所：zoomによるオンライン開催	令和3年 10月20日（水）	46名	本多留美 「高次脳機能障害の生活・就労支援～理解されにくい障害だから必要なこと～」
広島文化学園大学人間健康学部 スポーツ健康福祉学科 「相談援助の基盤と専門職」 場所：広島文化学園大学坂キャンパス	令和3年 10月26日（火）	20名	山田京子 「ソーシャルワーカーに成っていく皆さんへ」
支援者向け講演会 「知ってほしい！高次脳機能障害」 場所：広島市中区地域福祉センター 広島市・サポートネットひろしま共催 （広島市高次脳機能障害者支援事業）	令和3年 11月20日（土）	40名	本多留美 「知っておきたい高次脳機能障害」 藤原希恵 「当事者・家族とのかかわり方～支援の際に気をつけていること」
安佐北区介護支援専門員連絡協議会 定例研修会 zoomによるオンライン開催	令和3年 12月5日（水）	48名	本多留美 「高次脳機能障害の理解と支援方法」 藤原希恵 「知っておきたい基礎知識と 現場での支援のポイント」

(4) その他 この法人の目的を達成するために必要な事業

事業名・場所・主催	実施日	人数	内容（講師・演題）
きぼう 勉強会 場所：社会福祉法人 きぼう	令和3年 6月17日（水）	11名	講師：藤原希恵「高次脳機能障害勉強会」
きぼう 勉強会 場所：社会福祉法人 きぼう	令和3年 10月28日（水）	11名	講師：藤原希恵「高次脳機能障害勉強会」
きぼう 勉強会 場所：社会福祉法人 きぼう	令和3年 12月22日（水）	11名	講師：藤原希恵「高次脳機能障害勉強会」
きぼう 勉強会 場所：社会福祉法人 きぼう	令和4年 3月23日（水）	11名	講師：藤原希恵「高次脳機能障害勉強会」

令和3年度 活動計算書

自令和3年4月1日 至令和4年3月31日

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま(単位:円)

科目・摘要	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
入会金	0	
年会費	795,000	795,000
2.事業収益		
就労支援事業収益	1,652,965	
障害福祉サービス事業収益	23,079,227	
体験料収益	8,000	24,740,192
3.受取寄付金		
寄付金収益	870,000	
書籍寄付収益	6,140	876,140
4.受取助成金当等		
広島市相談委託助成金収益	818,000	
その他助成金収益	50,000	868,000
6.その他収益		
講師料収入	66,360	
受取利息	22	
雑収益	129,098	195,480
経常収益合計		27,474,812
II 経常費用		
1.事業費		
(1)人件費		
工賃(製)	684,000	
外部委託人件費(製)	87,750	
給料手当・賞与	16,680,413	
法定福利費	2,438,240	
人件費計	19,890,403	
(2)その他の経費		
材料費(製)	765,170	
研修研究費	24,000	
啓発事業費	132,000	
旅費交通費(事・製)	232,280	
車両費(事・製)	284,913	
通信運搬費(事・製)	548,441	
生活訓練費	91,100	
水道光熱費	338,434	
消耗品費(事・製)	706,830	
会議費	59,365	
諸会費	52,000	
保険料	322,060	
リース料	163,944	
支払手数料(事・製)	8,970	
支払報酬料	111,600	
租税公課	600	
雑費	111,320	
その他経費計	3,953,027	
事業費計		23,843,430
2.管理費		
(1)人件費		
給料手当・賞与	2,253,414	
法定福利費	175,346	
人件費計	2,428,760	
(2)その他の経費		
地代家賃	3,281,136	
水道光熱費	37,598	
消耗品費	19,538	
通信運搬費	47,279	
旅費交通費	2,760	
リース料	18,216	
租税公課	71,450	
諸会費	48,000	
支払手数料	5,102	
支払報酬料	493,900	
減価償却費	636,919	
その他経費計	4,661,898	
管理費計		7,090,658
経常費用計		30,934,088
当期経常増減額		-3,459,276
当期正味財産増加額		-3,459,276
前期繰越正味財産額		6,634,861
次期繰越正味財産額		3,175,585

(注)次期繰越正味財産額には、設備整備等積立金 8,090円を含む

(注)その他の事業は実施を規定していません。

※計算書類の注記

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま(単位:円)

科目・摘要	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	5,706,515	
未収入金	2,974,661	
流動資産合計		8,681,176
2 固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	1,459,092	
車両運搬具	530,966	
什器備品	273,178	
有形固定資産合計		2,263,236
投資その他の資産		
設備整備等積立預金	8,090	
敷金	1,491,426	
預託金	21,880	
投資その他の資産合計		1,521,396
固定資産合計		3,784,632
資産合計		12,465,808
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	2,500,000	
未払金	1,715,371	
預り金	74,852	
流動負債合計		4,290,223
2 固定負債		
長期借入金	5,000,000	
固定負債合計		5,000,000
負債合計		9,290,223
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		6,634,861
当期正味財産増加額		-3,459,276
次期繰越正味財産額		3,175,585
正味財産合計		3,175,585
負債及び正味財産合計		12,465,808

(注1)次期繰越正味財産額には設備整備等積立金 8,090円を含む

令和3年度 財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま(単位)

科目・摘要	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	78,576	
普通預金		
①広島銀行	1,088,242	
②広島銀行	3,005,794	
③郵便局通常貯金	1,417,783	
④郵便局振替口座	116,120	
未収入金		
2・3月分自立支援給付金	2,872,101	
2・3月分就労支援事業(受託事業)収入	86,970	
3月分啓発事業収入	15,590	
流動資産合計		8,681,176
2 固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備		
改装工事(平成23年)	1	
ローパーテーション	1	
事務所内壁・作業所出入口工事	604,559	
作業所改修工事	242,169	
改修工事(平成30年)	235,588	
LAN通信設備一式	376,774	
車両運搬具		
ポルテ	530,965	
日産セレナ	1	
什器備品		
サクセスベル 検査道具 2セット	2	
ワークサンプル 2セット	2	
パソコン 2台	96,251	
台下冷凍冷蔵庫	1	
電磁調理器	1	
コンベクションオープン	1	
製氷機	1	
エアコン	1	
パソコン2台(令和3年)	176,918	
有形固定資産合計	2,263,236	
投資その他の資産		
設備整備等積立預金		
もみじ銀行 普通預金	8,090	
敷金	1,491,426	
預託金		
車両リサイクル預託金 2台分	21,880	
投資その他の資産合計	1,521,396	
固定資産合計		3,784,632
資産合計		12,465,808
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金		
個人借入金	2,500,000	
未払金		
3月分 給料手当	1,478,931	
3月分工賃	46,300	
3月分会社負担分社会保険料	190,140	
預り金		
源泉所得税	74,852	
社会保険料	0	
流動負債合計		4,290,223
2 固定負債		
長期借入金		
医療福祉機構(WAM)より	5,000,000	
固定負債合計		5,000,000
負債合計		9,290,223
正味財産		3,175,585

(注1)正味財産には設備整備等積立金8,090円を含む